

口永良部島の被災者と支援する屋久島の皆さんを激励する

# 廣澤大介ヴァイオリン演奏と講演のタベ

＜会場＞屋久島町離島開発総合センター

8月26日(水) 18時半～20時半

＜演奏＞廣澤大介さん

曲目：ふるさと、トロイメライ、わが母の教えたまえし歌、リベルタンゴ、オブリビオン

＜お話し＞お母さんの稻光宏子さん

「“発達障がい”的息子と生きて」

＜懇談会＞

参加者の皆さんとの懇談の時間をもうけました。

＜廣澤 大介 さんは＞



1981年生まれ。長いあいだ「自閉症」に苦しんできました。得意な事と不得意な事の差が激しい大介さんは「コミュニケーションをとる事」、「手先の器用さ」が不得意ですが、一方で「音感」に優れ、さらに「ヴァイオリン」と「集中力」は抜群。7歳よりヴァイオリンを始め、2001年には「障害者のための国際音楽フェスティバル(ポーランド)」特別賞を受賞。2006年からは、プロのヴァイオリン奏者に。毎年、定期演奏会を開くとともに、保育所、小中高のPTA、大学や障がい者支援団体などから招待を受けて活躍中です。

＜お話しされるのは＞

お母さんの 稲光 宏子 さんです。

かつては新聞記者、現在は文筆家として活躍中です。大介さんの演奏会で学習障がいや子育てを語ってこられました。著書に『タケ子』、『被災者に寄り添う医療－震災最前线の絆－』、『ノベライズ おとうと』(山田洋二監督 映画「おとうと」を小説化)など多数。

## 「発達障がい」のことを知ってください

執筆：西川 瑞穂(医療法人瑞月会 かく・にしかわ診療所)

廣澤大介さんは自閉症スペクトラム障がいを持っています。生まれつきの脳の障がいで、得意な事と不得意な事の差が激しく、とりわけ大介さんは「コミュニケーションをとる事」、「手先の器用さ」が非常に不得意です。一方で「耳で聞いて覚えること」が得意で、さらに「良いこだわり=ヴァイオリンがあること」、「素晴らしい集中力を持っていること」といった良い特性も持っていて、そのことが皆さんに感動的な音楽をお届けできる原動力になっています。しかし、自閉症の多くの方々が苦しんでおられるように、大介さんも2次障がいを発症し、現在もその治療中です。素直で嘘をつかず、日々の地道な努力を怠らないことは自閉症スペクトラム障がいのとてもいいところです。さらに大介くんはヴァイオリンが大好きです。大介くんの活躍は、多くの自閉症の方々の大きな励みになります。

ファンクラブの会報「DAISUKE」24号(2015年)を、抄録・転載しました。

主催：廣澤大介ファンクラブ <https://daisukehirosawa.wordpress.com/>

お問い合わせ先

＜廣澤大介ファンクラブ＞梅本哲世 0745-62-5055

Email:tetsuy.u90@gmail.com

＜廣澤大介ファンクラブ屋久島＞代表 肥後美穂子 090-4354-1596

主催：廣澤大介ファンクラブ

後催：屋久島町、屋久島町教育委員会、